

治山・林道・森林整備の推進

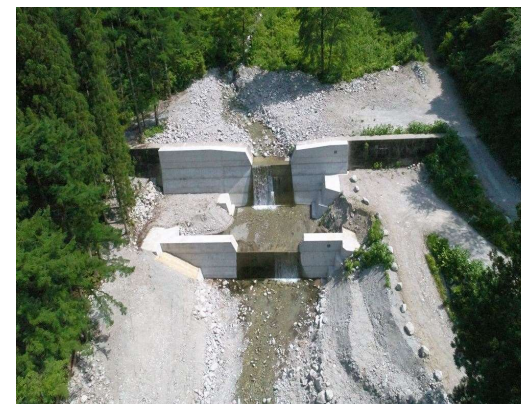
※ () 書きはR4補正を含む

○公共事業 34億5,600万円

- ・ 治山事業 19億9,800万円 (27億2,340万円)
山地の保全と防災・減災対策の推進
- ・ 林道事業 11億1,700万円 (11億3,500万円)
林業生産基盤や山村地域の生活環境改善する林道整備
- ・ 森林整備事業 3億4,100万円 (5億4,900万円)
森林の公益的機能発揮のため、間伐等を計画的に実施

○主要県単独事業 5億8,500万円

- ・ 治山事業 2億6,700万円 (4億5,700万円)
- ・ 林道事業 7,000万円 (7,000万円)
- ・ 森林整備事業 2億4,800万円 (2億4,800万円)



林業・木材産業の成長産業化の推進

県産材の安定供給体制の整備と需要の拡大 ※（）書きはR4.2補正含む

○林業成長産業化推進事業 2億3,434万円（7億1,429万円）

県産材を低コストで安定供給するための路網整備、高性能林業機械の導入、木材加工流通施設整備、多様な担い手の育成など

○富山県林業イノベーション推進総合対策事業 3,482万円

県内へのスマート林業の普及・推進を図るため、ICT等新たな技術の活用により、安全性の向上や効率化の実証実験を実施

○とやまの木で家づくり支援事業 1,600万円

住宅分野における県産材の需要拡大を図るため、県産材を使った新築・増改築の住宅へ補助

○林業人づくり総合支援対策事業 4,446万円

持続可能な林業経営に必要な担い手数の確保を図るため、人材の確保・育成の取組み等に対して各種支援を実施

○森林J-クレジット導入モデル事業 200万円

県内での導入を促進するためのクレジット創出のモデル実施と普及啓発を実施

○更新伐普及推進モデル事業 300万円

森林資源循環利用を推進するための更新伐（強度の抜き伐り）のモデル実施



水と緑の森づくり、花と緑の地域づくり

県民参加による豊かな森づくり、花と緑の地域づくりを推進

○「水と緑の森づくり税」を活用した森づくり 4億7,682万円

- ・ **里山再生整備事業 2億1,140万円**
県民協働による里山林の整備を推進
里山林の維持管理・利用を行う地域への活動支援
- ・ **みどりの森再生事業 7,587万円**
奥地の過密人工林や竹が侵入した人工林を整備し、混交林に誘導
- ・ **優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業 1億1,967万円**
スギ人工林伐採跡地への植栽、初期保育を支援
生産計画に基づく「立山 森の輝き」の苗木育成
- ・ **とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業 3,170万円**
森林ボランティア活動を総合的・専門的に支援
- ・ **県産材利用促進事業 2,020万円**
県産材を使った公共建築物やPR効果の高い民間建築物の木造化
及び内装木質化を支援。県産材遊具の設置や木育イベントの開催



○中央植物園

海外のサクラ展示による魅力創出事業 423万円

中央植物園の更なる魅力を創出するため、オックスフォード大学
附属植物園・樹木園との友好提携により導入した国内にはない英国
からのサクラを展示するコーナーを新設

富山県森づくりプランの概要

～ とやまの森を守り育てるために～

『富山県森づくりプラン』の概要 (令和3年10月改訂)

計画期間: H29～R8

基本指針

- 目指すべき森林の姿
- 県民参加による森づくり

⇒天然林を「里山林」と「保全林」、人工林を「生産林」と「混交林」に区分し、森林の状態や、地域ニーズ等を踏まえた、多様な森づくりを推進します。
⇒森づくりを推進するにあたっては、計画、実行、評価、改善の各プロセスにおいて、幅広い県民の参加を得ながら進めます。

混交林の整備 整備目標 500 ha

奥地の人工林や竹の侵入した人工林を広葉樹との混交林へ誘導するとともに、森づくりに活用する県産広葉樹苗木を県民協働で育成します。



広葉樹が生育している混交林

優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽

植栽目標 460 ha

森林資源の循環利用と、花粉症対策の一環として、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の苗木を生産し、スギ人工林の伐採跡地に植栽します。



「立山 森の輝き」の苗



スギ伐採跡地への植栽

水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進



里山林の整備 整備目標 2, 200 ha

生活に利用されなくなり、うっそうとした里山林を、野生動物との棲み分けや景観の保全などを旨とし、県民協働により整備します。

- 新たに ○クマ等の野生動物の移動経路となる河岸段丘等での里山林整備
- 拡充 ○地域のニーズに応じたきめ細かな支援の継続



整備により明るく見通しが良くなった里山



繁茂した、モウソウ竹を整理し、タケノコ生産に利用



県民参加による里山林の整備



里山資源の利活用の推進

とやまの森を支える人づくりの推進

森づくりの年間参加延べ人数 目標 13, 000 人

森林ボランティア活動の支援

とやまの森づくりサポートセンターによる、森づくり活動に必要な機材の貸出しや、安全講習など、森林ボランティア活動を専門的・総合的に支援します。

拡充

- オンライン森づくり塾によるボランティア活動支援



森づくりボランティア交流会



ボランティアによる植樹活動



森づくり塾の開催

森づくりへの理解を醸成する取り組み

児童、生徒など広く県民を対象とした「森の寺子屋」の開催や、県民が企画し実践する森づくり活動への支援、森づくり情報の提供などを行います。

新たに

- 一般県民向けの公開講座などの開催

拡充

- 3密を回避できる森林空間の利活用の促進
- SNSを活用した広報や事業地のオープンデータ化
- カーボンニュートラルに寄与する森づくりを発信



「森の寺子屋」の開催



県民が企画・実践する森づくり活動

森林資源の循環利用の推進

森づくりにつながる県産材利用の推進

公共施設等の木造化等や県産材道具の導入支援、木育の推進など、森林資源の循環利用を進めます。

- 公共施設等の木造化・木質化や木製品の導入等を支援

拡充

- 木育を推進するための出前講座の開催など



県産材を使用した内装の木質化



県産材道具の設置



県産材を利用した備品の導入

必要な事業費と水と緑の森づくり税

森づくりの取り組みに必要な事業費 **39. 8億円**(10年間)

【課税期間】

令和4～8年度まで5年間の延長

【税 額】

《個人》年間500円
《法人》資本金等の額に応じて、
年額1,000～100,000円(下表のとおり)

資本金等	税額(年間)
100億円超	100,000円
50億円超	80,000円
10億円超	40,500円
1億円超	6,500円
1千万円超	2,500円
1千万円以下	1,000円

※年間税収総額 3.9億円

⑧ 富山県林業イノベーション推進総合対策事業

【令和5年度予算額 3,482万円】

林業の安全な労働環境の確保と、森林整備の効率化や省力化を進められるスマート林業技術について、前年度の実証結果を検証しながら、引き続き、実証・検証、普及することで、森林経営管理制度に必要な森林整備を推進する。

1 事業の内容

(1) 富山県林業イノベーション推進協議会の開催 (2,000千円)

- ・ 県、市町村、県森連、県木連、素材生産組合ほか、年3回開催

⑨ (2) 新技術による業務の効率化 (1,600千円)

- ・ 林内の三次元データを容易に取得できる「マプリア」アプリの導入

(3) ICT林業生産管理システム等の実証事業 (29,216千円)

- ・ 5種の機器等を使用し県内実装モデルとして実証・普及

(4) とやま県産材需給情報マッチング支援事業 (2,000千円)

- ・ 需要情報把握のためのプロモーションの実施

2 事業主体

(1)、(2)、(3)

富山県：富山県林業イノベーション推進協議会へ委託（一部）

[事務局] 富山県森林組合連合会

(4)

とやま県産材需給情報センター(補助)

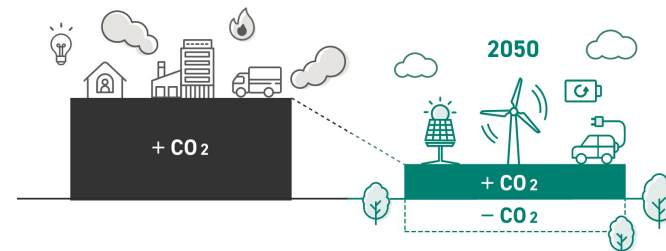
3 実証機器等

①地上レーザ	②林内通信網	③カラーマキング付ハーバスタ	④丸太検知アプリ	⑤オーガ付苗運搬機
				

新 森林Jークレジット導入モデル事業

【令和5年度予算額 200万円】

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、県内での森林Jークレジット導入を促進するため、公社営林でのモデル的なクレジット創出と、民間企業への普及及び機運醸成を図る。



1 事業の内容

(1) クレジット創出モデル事業

県内での森林Jークレジット導入を促進するため、公社営林でモデル的にクレジットを創出する。

(2) クレジット購入機運醸成事業

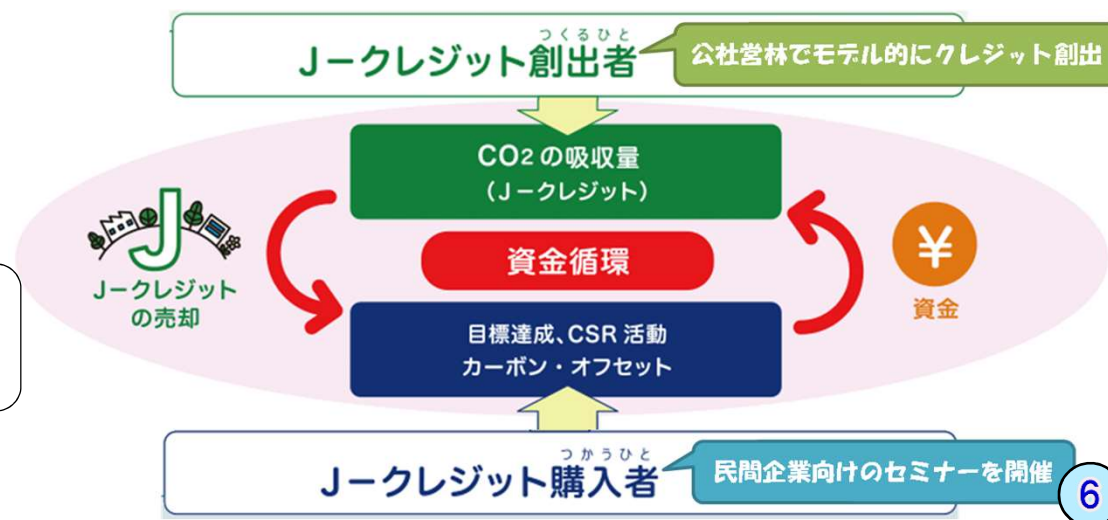
クレジット購入者となる県内の民間企業を対象としたセミナーを開催し、制度の普及と機運醸成を図る。

2 事業主体

富山県「美しい森林」
事業推進協議会

【構成員】

富山県、富山市、(公社)とやま緑化推進機構、
富山県森林組合連合会、(公社)富山県農林水産公社



新 ウッド・チェンジ推進事業

【令和5年度予算額 160万円】

令和3年10月の「公共建築物等木材利用促進法」の改正に基づき、民間施設での木材利用を進めるため、関係者が情報共有や意見交換等を行う官民連携協議会（富山県ウッド・チェンジ推進協議会）を設置し、木材利用を働きかける。

事業の内容

（1）協議会の設置、運営

〔構成員案〕 県、県木材組合連合会、経済団体、建築団体等

民間施設における木材の利用促進に向け、行政・経済・建築・木材団体等の関係者が一堂に参画する富山県ウッド・チェンジ推進協議会を設置し、木材についての情報共有や意見交換、先進事例の発信などを行い、木材利用について理解を深める。

「WOOD CHANGE(ウッド・チェンジ)」とは、身の回りのものを木に変える、我々の暮らしに国産木材を取り入れる、建物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動活動をあらわします。



（2）民間施設での木材利用の実態調査や取組目標の検討

民間施設での木材利用を推進するための基礎となる実態調査や取組目標の検討。



商業施設等での木材利用

⑧ 林業人づくり総合支援対策事業

【令和5年度予算額 4,446万円】

持続可能な林業経営に必要な林業担い手数の確保を図るため、人材の確保・育成・定着の取組等に対する各種支援を実施する。

事業の内容

⑧ (1) 林業担い手センター活動推進事業 (事業主体：(公社)富山県農林水産公社)

林業相談会やポータルサイト「林業就業ナビ」、林業体験により人材を確保、**ライフプランセミナー**により、就業者の定着を促進。



(2) 富山県林業カレッジ運営推進事業 (事業主体：(公社)富山県農林水産公社)

各種研修を通じた人材の育成により、就業者の定着促進や事業体の経営基盤を強化。

⑧ (3) 林業労働力安全対策事業 (事業主体：県(林災防富山県支部へ委託))

事業体の労働安全意識の向上及び労働発生災害ゼロに向け、**指導専門家を新たに養成**し、作業現場における労働安全衛生の定着を促進。

(4) 林業労働者退職金共済制度対策事業 (事業主体：林退共富山県支部)

労働者の福祉増進を図るため、中小企業退職金共済法に基づく林業退職金共済制度に加入する事業体に対し、共済掛金の助成を行う。

⑨ (5) インターンシップ導入支援事業 (事業主体：林業事業体)

人材確保及び就業後の定着を促進するため、**インターンシップ**を実施する事業体に対し、助成。